

組織目標管理シート

年度	令和6年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標		作成日	R6.5.10
組織名(部)	市民病院	組織名 (準部・課・機関名)	経営企画課			評価日	R7.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R6目標	R6結果	取組名称(事業名)	概要			
1	経営資源の効果的・効率的な配分に努め、経常収支の早期黒字化を目指します。	行財2-1-①	四半期ごとの決算整理	四半期ごとの決算整理	決算整理を毎月行い、院内Webに掲載した。	・各種統計情報の確認 ・費用の更なる見直し	四半期ごとの経営状況をみながら、院内への周知を図ります。また、適正な執行管理と厳密な予算査定において費用を抑制します。	○	毎月、院内Webのトップページに経営状況を掲載し、院内周知を図りました。また、執行管理体制の強化と新年度予算査定における費用抑制により、令和7年度予算を要求額より2.5%削減できました。	引き続き経営状況の院内周知を行うことで職員のコスト意識を高めながら、適正な執行管理を図り、経営の健全化を目指します。
2	経営改善のため、収益の増加に取り組めます。	行財2-1-①	診療科ごとのKPI設定や収益目標金額の作成	診療科ごとのKPI設定や収益目標金額の作成	診療科ごとの新潟医療圏の状況分析と各診療科へのヒアリングの実施	・医療圏の需給バランス分析 ・病院別カバー率の分析 ・各診療科へのヒアリング	収益の増加に向け、新潟医療圏の需給バランス分析や同圏における病院別カバー率の分析を行った後、診療科へのヒアリングを実施し、診療科毎のKPI設定や収益目標金額を作成します。	×	新潟医療圏における診療科ごとの分析とアンケートを実施しましたが、令和6年度の事業収支が想定より大きく悪化し、前提条件が大きく変わったため、KPI設定や収益目標金額の作成を保留しました。	外部コンサルタントを本格的に活用し、収益増と費用削減に取り組み、収支改善を図ります。
3	適正かつ効率的な会計事務の執行を確保するため、支払い遅延や不適切な処理の発生防止に努めます。	行財1-1-①	事務局内における会計事務研修会の実施	研修会の実施1回	研修会の実施1回	コンプライアンスの推進	職員に対し、伝票作成上の注意事項や会計処理上のルール等を周知し、理解を深めることで正確性、迅速性を向上するとともに、支払い遅延や不適切な処理の発生防止に努めます。	○	令和7年3月に事務局内で会計事務研修会を開催し、担当職員に対し伝票作成上の注意事項などを周知し理解を深めました。	引き続き事務局内へ注意事項やルール等の周知を行うことで、支払い遅延や不適切な処理の発生防止に努めます。

組織目標管理シート

年度	令和6年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標		作成日	R6.5.1
組織名(部)	市民病院	組織名 (準部・課・機関名)	管理課			評価日	R7.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R6目標	R6結果	取組名称(事業名)	概要			
1	病院の施設整備を通じて、提供できる医療の高度化や、災害拠点病院として安心・安全の基盤強化に努めます。	行財2-2-2-②	・ハイブリッド手術室の整備 ・特定天井落下防止対策の実施	・ハイブリッド手術室の整備完了 ・特定天井安全対策工事の完了	・ハイブリッド手術室の整備完了 ・特定天井安全対策工事の完了	・手術室の陰圧化及びハイブリッド手術室整備事業 ・特定天井等安全対策事業	内科的治療と外科手術をひとつの部屋で行えるハイブリッド手術室を新設し、提供できる医療の高度化を図るとともに、外来ホール特定天井の耐震化工事を行い、災害時の安心・安全の基盤強化に取り組みます。	○	ハイブリッド手術室の整備を完了し運用開始したとともに、特定天井安全対策工事も終え、安心・安全の基盤強化を図りました。	今後もコージェネレーション設備の更新や、必要な医療機器の整備を行うことで、引き続き、病院の施設整備を通じた医療高度化や災害拠点病院としての基盤強化に取り組んでいきます。
2	医師の働き方改革を推進します。		働き方改革に関する制度の周知徹底と取組みの啓発	年4回以上	年5回実施	医師の超過勤務時間削減等負担軽減	令和6年4月より開始された医師の時間外労働規制に関し、医師の負担軽減に資するため、年度替わり等医師の異動時期を中心に、各医師への制度の周知徹底と、院内の取組みの啓発を図ります。	○	働き方改革に関する文書発信や会議等での周知を年5回行い、制度周知と啓発の目標を達成しました。	引き続き、医師の時間外労働規制を達成できるよう、病院全体として制度の周知徹底と取組みの啓発を行い、時間外勤務の削減に取り組んでいきます。
3	病院運営に必要な人員確保に努めます。		有能な人員の確保	看護師等の必要人員確保	必要人員確保	採用試験の実施	各部署の業務状況、体制及び人員配置の検討を踏まえ、効果的な採用方法の検討を重ねつつ、今後の病院運営に必要な有能な人員を確保します。	○	2024年度の採用に関し、看護師70名、臨床検査技師5名、救急救命士3名等、必要な人員を確保しました。	引き続き、経営状況や業務の効率化も鑑み、各部署の状況を踏まえ、職員の負担軽減に資するよう、適切な人員配置を検討していきます。

組織目標管理シート

年度	令和6年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標		作成日	R6.5.9
組織名(部)	市民病院	組織名 (準部・課・機関名)	医事課			評価日	R7.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標		指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R6目標	R6結果	取組名称(事業名)	概要			
1	未収金の発生防止と、徴収の強化を積極的に実施し、未収金を縮減します。	行財2-2-①	3ヶ月以上の個人未収金額 (うち損保保険会社支払分を除く額)	56,000千円 (46,000千円)	50,958千円 (46,825千円)	・督促状、催告書の送付 ・電話催告の拡充、初期対応強化 ・未収金対策定例会議の開催 ・納付相談の実施 ・徴収員による訪問徴収の強化 ・退院時会計実施率の向上 ・無保険患者への早期対応 ・未収金発生防止の取り組みを強化		△	取り組みを実施し、目標を概ね達成した。	引き続き、現在の取り組みを継続していく。
2	院内他部門及び医事業務委託業者と連携を強化し、当院の診療機能に見合った適切な施設基準の取得・検討を行います。また、適時調査や特定共同指導に備え、適正かつ公正な診療報酬請求を行います。	行財2-2-①	医師・コメディカルへの指示・周知回数	50回	59回	・施設基準・運用遵守確認 ・医師・コメディカルへの注意喚起 ・当院の診療機能に見合った最適な施設基準の取得		○	医師・コメディカルへの周知37回、勉強会20回、講習会2回、合計59回実施した。令和6年9月に厚生局による適時調査が実施されたが、返還に繋がるような重大な指摘はなかった。また、新規施設基準を新たに9件取得した。	引き続き、当院の診療機能に見合った適切な施設基準を取得し、収益の増加につながるよう取り組んでいく。
3	医療情報システムの安定稼働、利便性向上を図るとともに、令和7年度(2025年度)に予定されている医療情報システム更新に向け、必要な業務を行います。	—	改善項目達成率 調達仕様策定 契約締結	95% 総合的に評価	98.0% (5,082件/5,185件)	・医療情報システムの安定稼働への取り組み ・医療情報システムの利便性向上への取り組み ・経営層、医療現場の意向を反映しつつ、全体最適化を強く意識した調達仕様策定 ・各ベンダーと粘り強く交渉を行い、適切な条件で契約を締結する		○	システム更新後の累積改善項目数は5,185件。内、5,082件(98.0%)について改善・回答した。 全体最適化を強く意識し、各ベンダーと粘り強く交渉した結果、当初の見込みを大幅(億単位)に下回る金額で契約を締結した。	高いレベルで改善項目数を維持しており、引き続き対応徹底していく。 新システムの保守業務においても、適切な条件で契約を締結する。
4	国が推し進める医療DX政策をタイムリーに実現します。 RPAなどのデジタル技術を用い、業務DXを推し進めます。	行財1-3-②	業務改善取り組み件数 削減工数(時間)	5件 900時間	21件 908時間	・DX推進検討WG運営 ・非効率業務、課題の洗い出し ・業務改善策の提案と技術支援 ・RPAなどを用いた業務負担軽減 ・各種デジタル技術の情報収集 ・AI、ChatGPT、スマートデバイスなどの導入に向けた情報収集、課題抽出、影響/効果分析 ・患者サービス向上に寄与するデジタル技術導入の提案 ・DX推進中期計画策定		○	RPAなどを用いた業務負担軽減を19件実施。 テンプレートを利用した業務フロー改善を2件実施。 削減工数は累計で908時間。	引き続き、現在の取り組みを継続していく。